

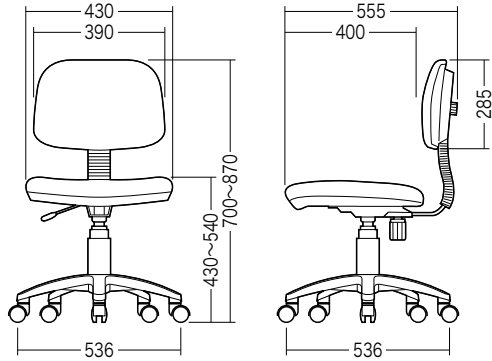
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

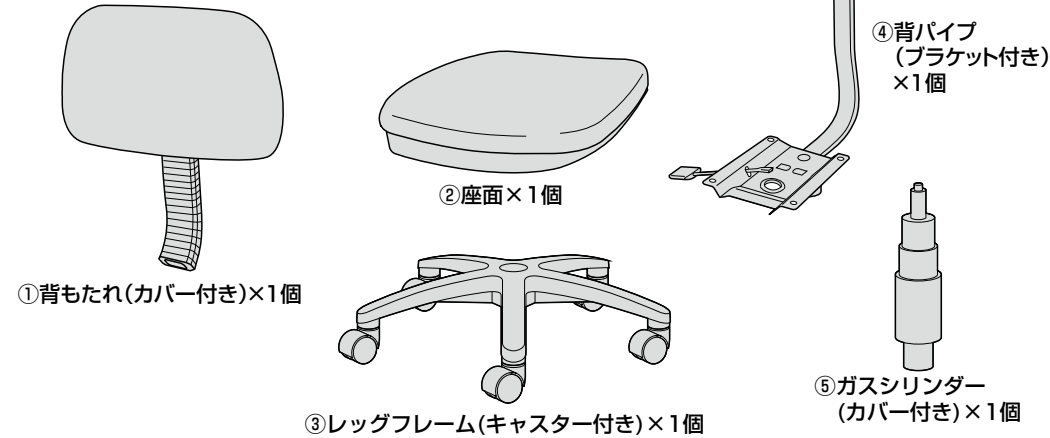
★用意していただくもの・・・プラスドライバー  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

**完成図**

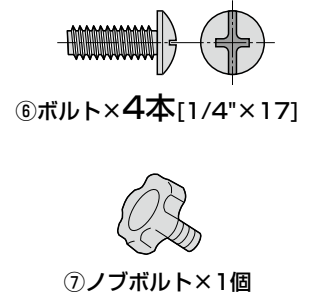


**組立て部品**

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(SNC-E10BKなど)と  
下記の部品番号①～⑦と部品名(ボルトなど)をお知らせください。



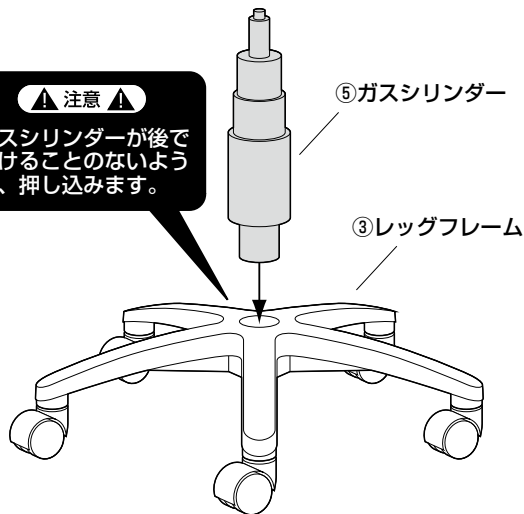
**ボルトセット**



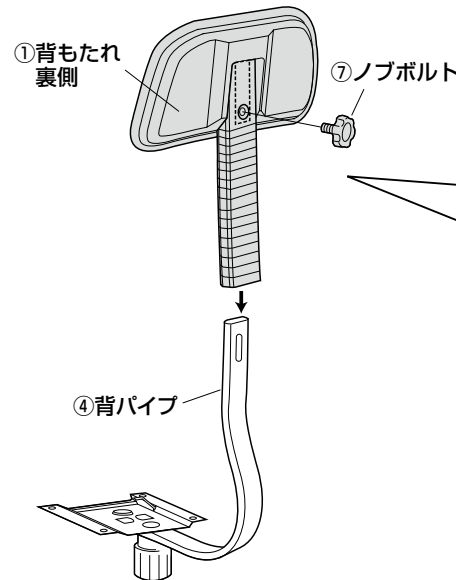
**1 ガスシリンダーをレッグフレームに  
取付けます。**

**注意**

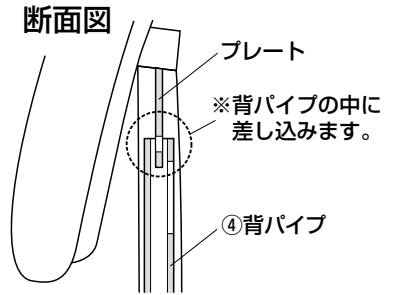
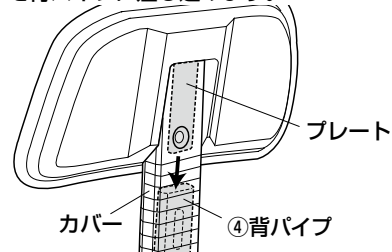
ガスシリンダーが後で  
抜けることのないよう  
に、押し込みます。



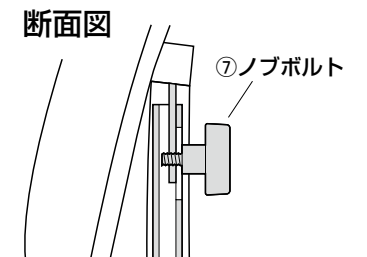
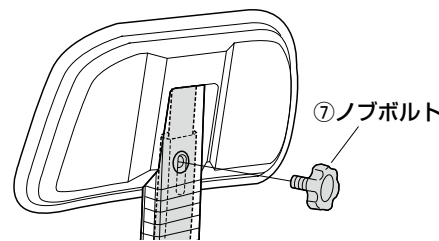
**2 背パイプに背もたれを取付けます。**



①背もたれのカバーの内側にあるプレート  
を背パイプに差し込みます。

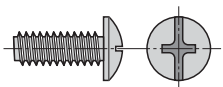


②ノブボルトで任意の高さに固定します。



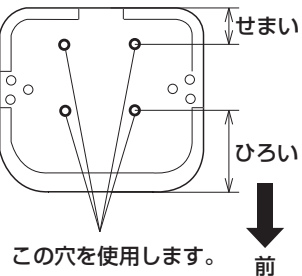
### 3 背パイプに背もたれを取付けます。

使用ボルト

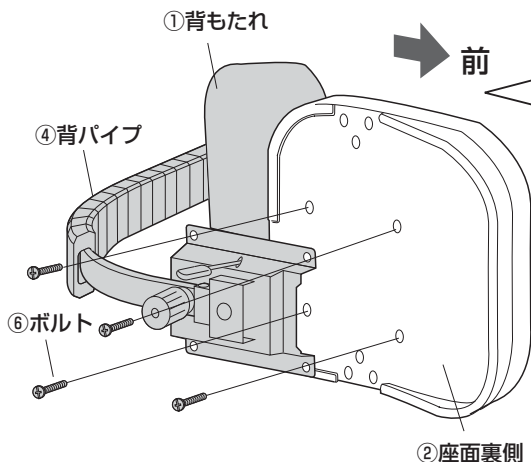


⑥ボルト[1/4"×17]

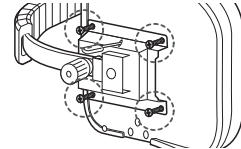
下から見た図



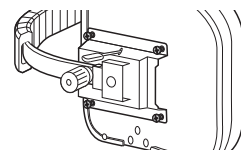
**注意** ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。



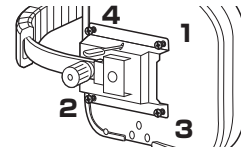
①4本のボルトをゆるく付けます。



②すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。



③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締め付けます。



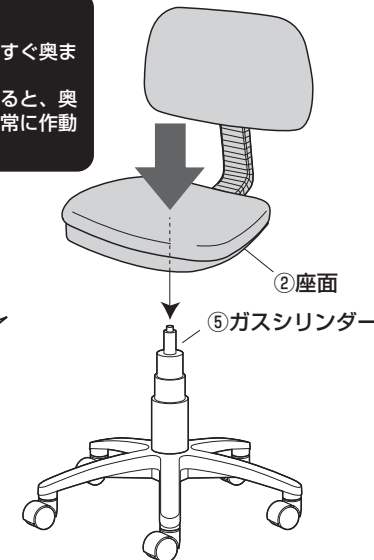
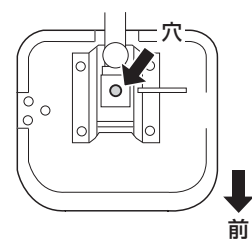
### 4 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込んで完成です。

**注意**

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。

下から見た図

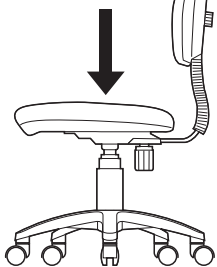
座面ブラケットの下図の穴に差し込みます。



最後に

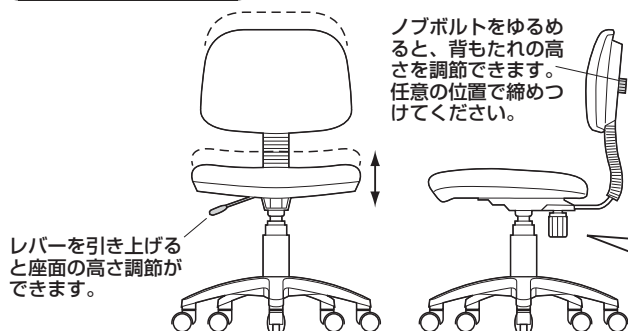
※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

座って押し込む



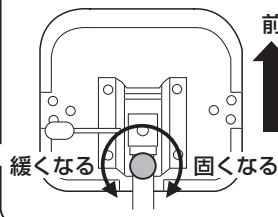
- ※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
- ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
- ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
- ※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

各部の調節方法

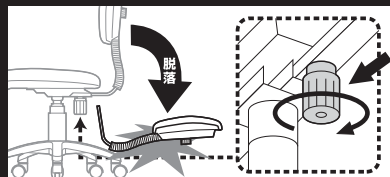


下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックリングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



**注意**  
背もたれの脱落に注意!



1ヶ月に1回を目安に底部のノブボルトを必ず締め直してください。

ゆるむと背もたれが外れ、転倒する恐れがあります。

チェアの品質表示

外形寸法：幅536×奥行555×高さ700~870mm  
(座面高さ430~540mm)

構造部材：座部・背もたれ部/合板、ポリプロピレン  
脚部/ポリプロピレン、ナイロン キャスター部/ナイロン  
張り材：アクリル(防汚加工) クッション材/ウレタンフォーム

**使用上の注意**

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 2ヶ月を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
  - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
  - 座面・肘あて部の上に登らないでください。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。